



6 親が不登校の子どもと向き合うためには何が必要か

※紹介する事例はプライバシー保護のため、事実と変えているところがあります。

軸を支える土台③

軸を支える土台の3つ目は、幅広い情報を知ることです。不安をあおる情報や「もっともらしい考え方」に振り回されていると、子どもの立場に立つことができません。

■世間の怪しい情報と考え方

私たちの周りには、不登校に関する情報で、怪しいものが溢れています。全て間違っているとは思いませんが、頭で勝手に作ったり、偏ったデータから導きだされたものは少なくありません。不登校を生きてきた実際の子ども姿を知らないことが多いです。

例を挙げると…

- 「心が弱いから不登校になる」
- 「不登校だと集団への適応力が育たない」
- 「不登校のままだと行ける高校がない」
- 「学校不適應だと、社会にも適應できない」
- 「保健室登校をしていると、教室に行かない」
- 「好きなことだけの生活は、わがままになる」
- 「生活リズムが乱れていると、学校に行こうとした時に体が動かない」
- 「ネット漬けの生活だと依存症になる」
- 「不登校をしているとひきこもる」
- 「厳しくしないとひきこもる」

「ひきこもると、それが一生続く」

中には「太陽の光を当てると、不登校が治る」というものまであります。ある研修会で、当時有名な脳科学者が説明していました。科学的？なデータと、もっともらしい理論を使って…。

これらの情報は、不登校のことをよく知らない人が聞くと、「そうなのかもしれない」と思ってしまいます。信じ込んでしまうと、子どもを必要以上に追いつめてしまう「危険な考え方」となってしまいます。

■不登校を生きた花道君

星の会の例会で、かつて不登校だった子どもたちが、その後どのような人生を歩んできたかを聞くことがあります。

中学2年生の時に不登校だった花道君(仮名)は、「もう、あんな思いはしたくない」と、強い決意で私立高校に進学します。しかし、1学期の途中から腹痛で欠席が…。朝起きても、ご飯を食べられません。さんざん悩んだあげくに高校を辞めました。

花道君にわからないように涙をこぼした母を見て「高校を辞めた不安よりも、親を泣かせるようなことをしてしまった自分が情けなかった」と言っていました。

アルバイトをいくつかした後、小さな会社に就職しました。朝、「母さん、学校に行っていた時とぜんぜん違う。朝飯がうまい。」と笑顔で話しました。

数年間その会社に務めました。無遅刻無

欠勤でした。しばらくして、やりたいことを見つけます。しかし、「高卒以上」という条件ではねられます。

社会に横たわるきびしい現実を知り、定時制高校に行くことを決めました。そこで出会ったあったかい先生や気の合う仲間。部活動をしながら過ごした4年間は、とても楽しくて貴重だったと言います。

今も、花道君は自分の人生を力強く歩んでいます。困難なことはたくさんありますが、自分で決めて歩んでいます。「不登校の子どもは、社会に適應できない」という情報がいかに偏っているかが分かります。花道君は「適應」どころか、人生の主人公として生きています。

■親の会で「子どもの事実」を知る

子どもが、自分で決めて歩む社会的自立の道は様々です。親が思い描くような人生を歩むことは、「ほとんどない」と言って良いでしょう。

しかし、不登校とひきこもりは、そのやり方さえ間違わなければ、自分の人生を歩む力になります。それどころか、不登校・ひきこもりを生きているそのものが「自立」という青年もいます。

親の会では、そうした事実をたくさん聞くことができます。他では絶対に聞くことができない不登校の情報の宝庫です。不登校を生きてきた「子どもの事実」を知ること、目の前にいるわが子の理解に役立てて下さい。子どもを指導や治療の対象としか見ない考え方(情報)に惑わされないために…。

民間教育研究集会

同封したチラシにあるように、8月20日に民間教育研究集会が別府で開かれます。この集会は、教職員が手弁当で集まって行う研修会です。

「星の会」は、不登校分科会で、毎年発表をしています。今年も、魅力ある内容となっています。周りの方々とお誘い合わせの上、ご参加ください。

不登校分科会 分科会 A
12:30 ~ 14:30

体験に学ぶ

「子どもが自分の人生を歩む時」

川田久美子さん(仮名)

不登校の子どもが、自分の人生を歩むようになるために、親はどうよりそい、むきあうのか…。川田さんの体験には、学ぶ所がたくさんあります。

当事者に聴く不登校・ひきこもり

不登校の子どもに何が必要か

不登校・ひきこもりを経験した青年と一緒に、子どもたちの「そばにいてくれるだけで良い」の意味を探ります。

おねがい

原稿をお寄せ下さい

- 感想・体験 ●伝えたい情報
 - その他不登校に関すること
- <メール> toiwase@hoshinokai.net
<FAX> 0972-24-3557

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

寄付の募集

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651
<加入者名> 不登校を考える星の会

例会の予定

- 昼の大分例会…都合でお休みします
- 別府例会…都合でお休みします
- 豊後大野例会…9月15日(木)19:00~21:30
- 津久見例会…9月9日(金)19:30~21:30
- 夜の大分例会…9月16日(金)19:00~21:30
- 湯布院例会…9月29日(木)19:30~21:30
- アンダンテ星の会…9月25日(日)10:00~12:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

会報発送作業

- 8月22日(木)14:00~
 - ジョイフル米良店
 - お尋ねは河野
- (080-5272-9360)まで